学校番号	1206

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	学) ものづくり探究 (情報技術編A)	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

パソコンやスマートフォンなど便利な情報機器を１人１台持っていることが当たり前となった昨今、これらを使ってできる事は沢山あり、情報機器を使いこなすスキルはこの先も必要になるでしょう。この授業では、情報機器やソフトウェアの使い方を学び、コンピュータの機能・特性を活用して自己表現する術を身につけます。また、グループによる発表を通じて、発表時の言葉遣いや態度を身につけ、班員同士で協力し合うチームワークを育み、グループディスカッションによって課題解決能力を養います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
編集用ソフトウェアの基礎的な知識と技術を養う。著作権についての知識を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
実際の原稿のために、目的や場に応じた適切な言葉使いを判断できる力やＢＧＭで自分の感情を表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
音響機器と情報機器の連携について体験したうえで、その特性を理解し、他人と協力する力と態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・必要な編集用ソフトウェアの使い方が理解できる。 ・音響機器の特性とその取扱いについて理解できる。 ・課題制作の流れやポイントが理解できる。 ・作品制作上で著作権に関係する素材や引用について理解できる。	・1つの事象について、多面的なとらえ方ができる。 ・実際に読み原稿を書き、一定の時間内で表現できる。 ・BGMが持つ「感情」を適切に捉えて作品に反映できる。 ・自分の表現したい内容をきちんとストーリー中に表現できる。	・各課題に対して、班員と協力して取り組んでいる。 ・エラーや課題点が生じた際には、解消・改善に向けて意見を交換し協力して正解を導こうと努力している。 ・他の人の発表をよく聞き、質問やアドバイスする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	ラジオCM制作	1.CMとは 2.CM表現上の注意 3.読み原稿作成 4.音響機器の取扱い 5.録音･編集 6.作品発表	a:1つの事象について、多面的なとらえ方ができる。 b:実際に読み原稿を書き、一定の時間内で表現することができる。 c:音響機器の特性とその取扱いについて正しい知識をもち、最後まで作品完成をやり遂ようとしている。	プリント穴埋め	読み原稿 企画書	課題のプレゼンを発表し評価する
	サウンドストーリー制作	1.サウンドストーリーとは 2.ストーリーの構築方法 3.台本作成 4.原稿の読み合わせ 5.録音・編集 6.作品発表	a:作品制作上で著作権に関係する素材や引用について理解できる。 b:BGMが持つ「感情」を適切に捉えられるよう音響効果を研究できる。 c:万人が聞き取りやすい発声をしているか、適切なアクセントで発音をしているか考え、分かりやすい作品の完成をめざそうとしている。	ワークシート 課題のストーリー	企画書 台本作成 課題	作品発表 トラブルに対する、意見を述べるリーダーシップ
後期	パラパラアニメ制作	1.パラパラアニメとは 2.作成時における注意 3.ストーリー作成 4.カット割り検討 5.台詞原稿作成 6.素材画像作成 7.録音･編集 6.作品発表	a:自分の表現したい内容をきちんとストーリー中に組み込むことができる。 b:制限時間内でどれだけわかりやすい作品にすることができる。 a:音響機器、情報機器を適切に扱うことができる。 c:最後まで、作品として仕上げようとしている。	素材画像作成の技巧 デザイン 録音・編集の技能 技術	台本 制作品の内容 技巧 デザイン	制作品のプレゼンテーション 授業に取り組む姿勢 トラブルシュート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度